

	読む	書く（ノート指導）	話す	学習姿勢
1・2年	問題文を声に出して読む。 ページ・番号・問題文を指で押さえるなどして、具体的な作業を加えながら確認する。 大事な言葉に印をつける等、言葉を意識する習慣をつける。	日付・ページ数・単元名（課題）を書く。 黒板に書かれたことをきっちり写す。 ふりかえりのマークを描く。	受け応えをきちんとする。 （例）「はい、～です。」 「さんと、同じです。」 「さんと、ちがいます。」	<ul style="list-style-type: none"> ・よい姿勢で聴く。 ・学習用具の準備をする。（定規・下敷き・赤鉛筆など） ・返事をはつきりとする。 ・場に応じた言葉づかいをする。
3・4年	問題文を声に出して読む。 問いの文に線・印などを入れながら題意を確認する。 部分のつながりを意識して読む。	日付・ページ数・単元名（課題）を書く。 自分の考えを書く。 ふりかえりを書く。	立場を明確にして話す。 （例）「わたしは、さんと同じ意見（ちがう意見）で、～だと思ひます。」 「わたしは、さんの考えとにています。」 「さんの意見につけたします。」	
5・6年	問題文を声を出して読む。 問いの文、既に分かっていることを整理しながら、題意をつかむ。 部分だけでなく、全体を意識して読む。	日付・ページ数・単元名（課題）を書く。 自分や友だちの考えを書く。 学習したことがわかるノートを作る。 ふりかえりを書く。	根拠をもとにして話す。 （例）「わたしは、さんと同じ意見（違う意見）で、～だと思ひます。なぜなら、だからです。」 対比しながら話す。 （例）「わたしは、さんの考えと似ていますが、～の部分は違ひます。」	

だから、～です。
わたしは、～だと思ひます。なぜなら、
だからです。